

北海道立博物館協議会に係る諮問の進め方について（第2回目）

■諮問事項

「新たな時代に対応する北海道立総合博物館のあり方」について

■前回までの概要

○博物館が進める(取り組む)べき方向性を4つの諮問事項に整理

○「基本的機能の充実」及び「求められる役割」等を中心に意見聴取

【資料4-1、資料4-2】

○答申は意見及び提言等を反映後、素案を経て令和7年3月策定

【資料4-3】

■令和6年度「第1回」協議会

●聴取（諮問）について

1. 北海道立総合博物館と「地域との信頼関係の構築」について2. 北海道立総合博物館の「運営基盤強化」について

（前回の「基本的機能の充実」及び「求められる役割」においても、可能な限り、追加意見等を聴取し、議論を深化させる）

【参考】

＜ポイント選定理由＞

選定事項	理 由
基本的機能の充実	・「資料の収集・保存」「展示等の資料の利活用」「資料の収集・保存・利活用を支える調査研究」「成果の社会還元」など、新たな時代・社会の情勢を見据えた取組が必要と考えられるため
求められる役割	・博物館に係る国内外における議論、社会ニーズや意識の変化、政策動向など、文化(財)のあり方などを踏まえ、道立総合博物館としての取組が必要と考えられるため
地域との信頼関係の構築	・創造活動の発展の場として、より身近な地域（広くは道民、狭くは近隣のエリアの、道民、学校教育等）との関係を意識した、取組が必要と考えられるため
運営基盤強化	・上記の選定事項を踏まえ、組織体制、人材育成及び政策予算への反映などを含め博物館活動の持続的、発展的運営を目指すことが必要と考えられるため

■今後の予定

●答申について

R6. 10. 31

第1回道立博物館協議会

11月中

協議会意見・提言の調整反映

12月

答申素案作成及び各委員への提示

R7. 1月～2月

答申（案）策定及び各委員への提示

R7. 3月

答申（令和6年度第2回博物館協議会を想定）

■添付資料

・資料4-1「令和5年度第2回協議会における諮問に関する主な意見」

・資料4-2「諮問における「4つのポイント」と実際の事業の対応」

・資料4-3「新たな時代に対応する北海道立総合博物館のあり方」答申（素案）の基本的な考え方

・資料4-4「4つの諮問に係る答申策定に向けて」

■参考資料

・参考資料1「博物館を取り巻く情勢について」